

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	沼田 英子
主な担当科目	博物館概論,博物館経営論,博物館資料論,博物館実習Ⅰ,博物館実習Ⅱ,博物館情報・メディア論,博物館展示論,美術史Ⅰ,美術史Ⅱ
2025年の教育目標・授業に臨む姿勢	学芸員課程では、博物館が現代社会に果たす役割の重要性とそこで働くことの意義を理解することを目標とする。学芸員として博物館で働くための知識とスキルを身に付けられるよう、体験や見学の機会をできるだけ設け、学生が主体的に学ぶ環境を作るよう努める。美術史では美術の歴史や作品の理解を深め、美術鑑賞を楽しむことを重視する。作品を言語化する作業を通して分析力や鑑賞力を高め、他者に自分の感想を伝えるコミュニケーション力を培う。
2025年の教育に関する自己評価	各事業で学外見学の機会を設け、報告会で感想の共有を図るほか、ディスカッションやグループワークの場を設けて学生が主体的に学ぶようにした。「博物館実習Ⅰ」では「小原・堀田コレクション」の写真資料を活用した展覧会の企画・制作を行い、学生自らが課題を解決し、展覧会を実現してゆく工夫をした。「美術史」では、リアクションペーパーやレポートにより、作品を言語化する能力を培い、振り返りの時間を充実させ、授業や作品についての感想を共有して、作品に対する理解を深めることができた。
2025年のFD活動に関する自己評価	教養分科会、資格分科会ともに参加された先生方と授業運営の課題などを共有し、自分の授業の参考になる意見をうかがうことができた。特に学生の受講態度、出席状況、試験の際の不正行為、AIの使用などが共通の課題として議論され、参考となった。教養分科会では主査として全員の参加者の意見をいただくよう努めた。
授業改善のために取り入れた研修内容	多様な学生がいることを受けて、柔軟に対応するように心がけた。授業の冒頭で、授業の目的、授業を受ける姿勢などについてわかりやすく説明するようにした。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3566 教員名:沼田 英子

1)アンケート結果に対する所見

いずれのアンケート結果でも、授業を受講してよかったと回答する学生が多く、嬉しく思った。今後も、授業の進行やトピックスに工夫して、受講する学生に興味を持って学んでもらえるように心がけたい。

2)要望への対応・改善方策

出席をとった後で退出する学生については、TA が教室後方に座り、注意するようにしてもらっている。また、授業を聞かずにリアクションペーパーを書いたことは、文章を読むとわかるため評価は低くなる。なによりも、真面目に出席し、課題を提出している学生たちが、よかったと思えるような授業にしていきたいと思う。

3)今後の課題

美術史において、コミュニケーション能力や実践力を高める工夫をしたいと思う。

以 上